

令和4年4月吉日

朝日町・高根町の住民の皆様へ

朝日まちづくり協議会 会長 長瀬 真人
高根まちづくりの会 会長 森本喜久男

提言書の提出について（ご報告とお礼）

早春の候、両町民の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、まち協の活動に対しご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、新聞報道にもありましたように、朝日まちづくり協議会と高根まちづくりの会では、去る3月1日に高山市長と教育長、そして市議会議長に「学校のあり方についての提言書」を届けてまいりました。提言書には、皆様から届けていただきましたご意見も一覧にして添え、朝日町と高根町の住民の皆様の思いをお伝えしてきました。ここに、皆様へ、提出についてのご報告とお礼を申し上げます。

國島市長は、「まちづくりにとって欠かすことのできない学校のあり方について、町民の皆さんが主体的に話し合われ、その内容を提言書として届けていただけたことに、市政に携わるものの代表として感謝します。皆さんの思いを首長としてしっかりと受け止め、地域づくりの視点で今後検討していきます。」と話されました。また、中野谷教育長は、「この提言にある義務教育学校は二つの地域を対象とした学校であり、これまでにないケースです。義務教育学校は一つのモデルになると思います。地域と行政の力をミックスし提言内容を活かしていきたいと思います。また、提言にある子どもたちの安全についての内容は大切なことです。できるだけ早急に検討したいと思います。」と話されました。そして、中箴議長は、「提言書と関係資料から、皆さんの熱い思いが伝わってきました。福祉文教委員会でも話し合い、地域の皆さんの思いや願いにお応えできるよう議会としても対応します。」と言われました。

このように、高山市政を代表する方々が、地域住民の思いを真摯に受け止めて下さったことをご報告します。町民の皆様が、子どもたちや地域のことを考えて協力していただいたおかげです。深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

なお、提言書は提出しましたが、これからが朝日・高根のまちづくりの新たなスタートです。引き続き、朝日まちづくり協議会と高根まちづくりの会の取り組みに対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



写真：中箴議長へ提出 写真：國島市長と中野谷教育長へ提出